

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2(2)	地域との交流が限定的で、広がりが無い。特定の利用者の友人・知人がホームを訪ねてくれることはあるが、組織だった交流・定期的な交流等ができていない。	①自然な形で、近隣住民・所業店舗スタッフと交流が持てる。 ②近隣の保育園等と、定期的な交流が持てる。	①近隣のスギ薬局・マルイチ(スーパー)等への買い物には、スタッフ単独でなく、利用者さんと一緒に出かける。 ②近隣の幼稚園等に働きかけ(例えば、直近で言うなら施設での餅つきへの招待)、定期的な交流の足掛かりを作る。	6ヶ月
2	4(3)	会議の形骸化がいなめない。主催者が情報発信する形が大半であり、誘導しないと参加者からの意見が出てこない。	①参加者から「こちらの想定外の質問・意見」がでるような会議。 ②運営推進会議から地域交流が広がる。	①他のホームの会議に出席させて頂くと同時に、当ホームの会議に出席して頂くように働きかける。 ②上述の保育園等との交流が進み出せば、当該幼稚園等の園長さん等にも出席を依頼する。	12ヶ月
3	33(12)	ここ1~2年、看取りを行うケースが出て来ている。ご家族も「慣れたホームで最後を迎えさせてあげたい」との意向が多い。実際、終末期を迎え、懇談したご家族は、100%可能な限りホームで終わらせたいとの意向であった。	ご家族は勿論、スタッフも安心して終末期の対応ができる体制を作る。	①グループ担当の正看護師以外の看護師(准看護師:デイ所属)にもグループ利用者の状態を理解し、常時看護師がフォローできる体制をより強固にする。 ②看取りの対象となる利用者さんが出た場合、スタッフに対して十分な説明を行い、きめ細かいフォローを行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。